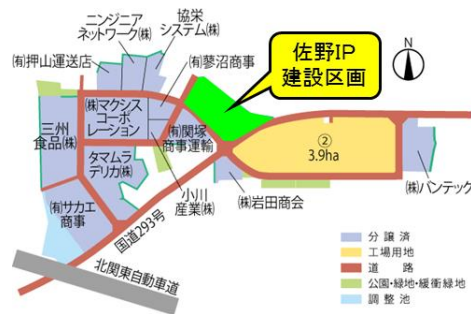




1.佐野インランドポートの概要

- 1) 事業主体 佐野市
- 2) 運営手法 指定管理者制度による管理運営
⇒平成28年6月17日議決に基づき、
吉田運送有限会社（茨城県坂東市）を
指定管理者に指定
- 3) 供用開始 平成29年秋
- 4) 事業地 佐野市戸奈良町2500-3
(佐野田沼インター産業団地内)
- 5) 主な運営業務
 - ①コンテナ輸送の支援に関する業務
 - ②通関手続きの支援に関する業務
 - ③荷役業務 ④貨物の保管業務
 - ⑤コンテナの管理、メンテナンス業務



■佐野市の概要

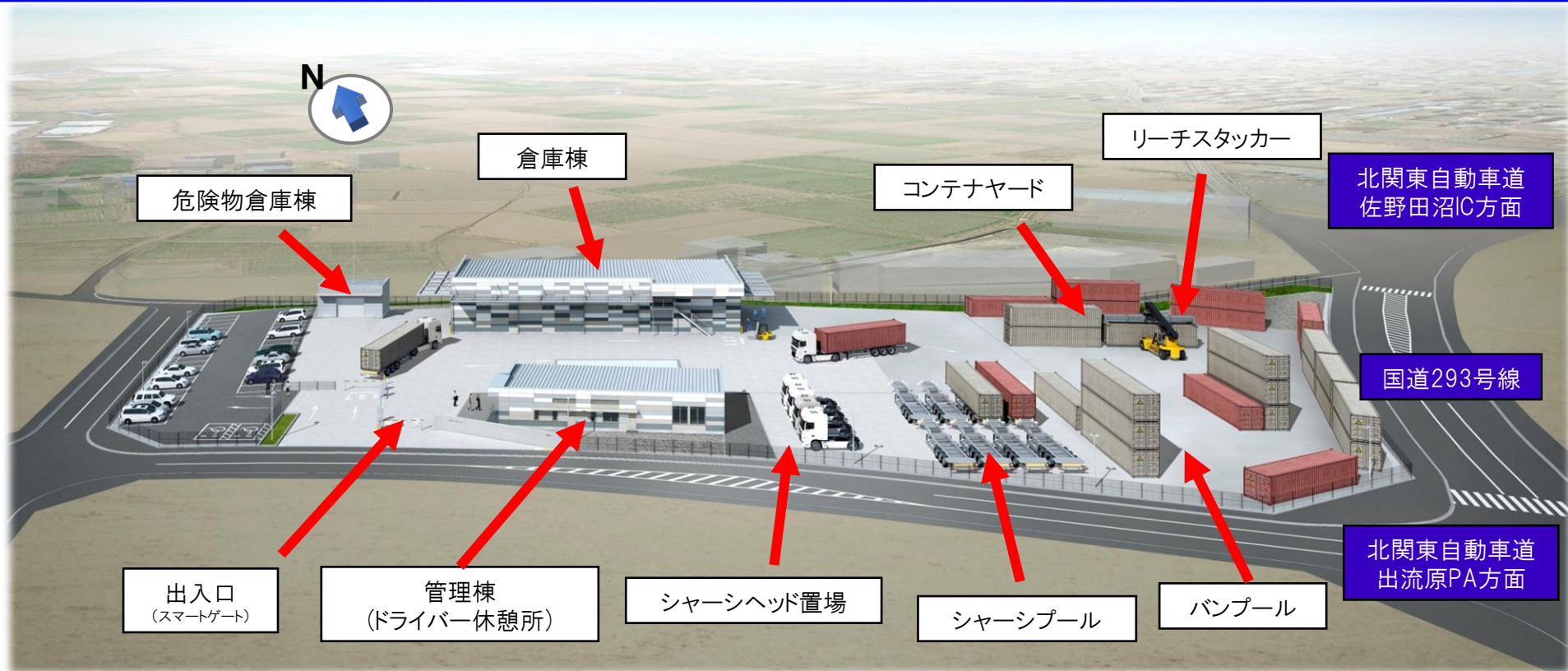


平成17年2月28日に、佐野市、
田沼町、葛生町の1市2町が合併し
現在の佐野市となる

- (1)面積 356.07㎡
- (2)人口 120,018人(H29年4月1日現在)



2. 施設概要



【管理棟】 軽量鉄骨造 平屋建て 延床面積 258.36㎡

事務室（3部屋）、多目的ホール（2部屋）、休憩室、湯沸室、男子トイレ、女子トイレ、倉庫

【倉庫棟】 軽量鉄骨造 平屋建て 延床面積 1,004.19㎡

作業所、コンテナチェック用外階段

【危険物倉庫棟】 軽量鉄骨造 平屋建て 延床面積 52.56㎡

施設専用危険物保管

【外構】 コンテナヤード・バンプール 約2,500㎡、シャーシプール・シャーシヘッド置場 約820㎡



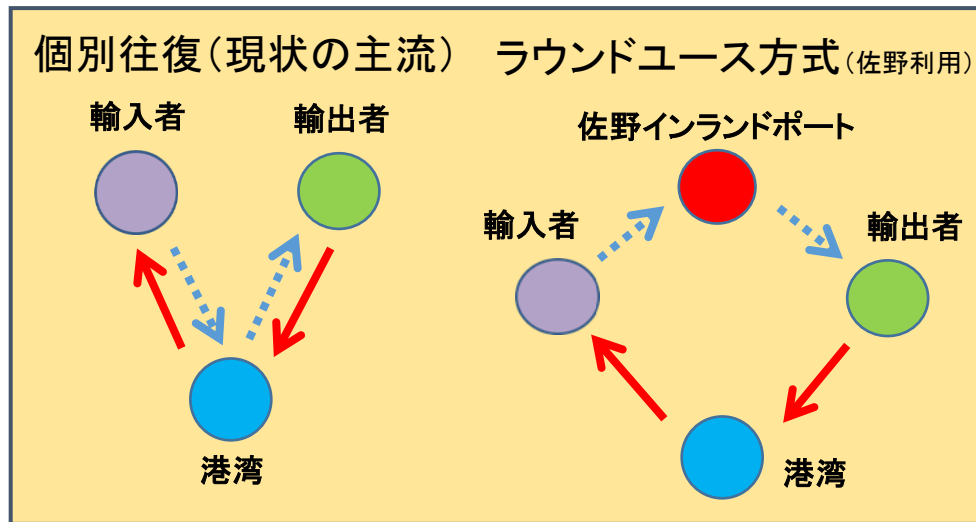
3. 佐野インランドポートの特色

(1) コンテナラウンドユースを積極的にコーディネート

佐野インランドポートでは、コンテナラウンドユースを積極的にコーディネート。利用者様の物流効率化、コスト削減はもちろんのこと、環境負荷の低減や港湾地区での渋滞対策に大きく貢献いたします。

※コンテナラウンドユースとは…

輸入で使ったコンテナを内陸のインランドデポ等を経由して、輸出に再利用するもので、往復で実入りコンテナとして輸送可能となります。



← 実入り
←····· 空荷

(2) コンテナの管理及びメンテナンス体制の確立

コンテナについては、佐野インランドポートで検査を行い、ダメージがある場合は簡易的な修理を行います。より安全に利用者様へコンテナを提供することが可能です。また、修理のみでもご利用いただけます。





4. 佐野インランドポートの特色

(3) 大型荷役機械（リーチスタッカー）を導入

コンテナの積み卸しや移動運搬を行う専用の大型荷役機械「リーチスタッカー」を導入。荷役効率を高めます。



(4) トラックスケールの導入

国際条約（SOLAS条約）に対応し、貨物重量や偏荷重の計測を可能にします。

グローバルコンテナマッチングシステムと連携中

佐野インランドポートに関する情報を発信しています。

※グローバルコンテナマッチングシステムとは、NPO法人エスコットが管理・運営する物流関連企業向け情報システム。国際物流に関する様々な情報共有を図ることを目的とし、パソコンやスマートフォンを活用してコンテナマッチングの相手先を探すことも可能となっている。

グローバルコンテナマッチング運営サイト <http://gcm-sys.org/>





5. 供用開始に向けて

管理棟工事の様子



- 今年秋の供用開始に向け、現在は建物工事が進められています。
- コンテナヤードやバンプールなどの外構部分については、工事の発注に向けた手続きを進めています。
- ハード整備と並行して、コンテナのダメージチェックや騒音防止の新たな手法の確立を目指し、社会実験等を進めています。

倉庫棟工事の様子



倉庫棟（内部）工事の様子

